

2002年6月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、大西洋の30~40°N 帯で正偏差、50~60°N 帯で負偏差の状態が4月から続いた。また3月以降続いたカナダ付近の負偏差は解消した。太平洋中緯度域はおおむね負偏差となった。大西洋北部から中央シベリア付近にかけては波列状の偏差分布が5月に続いて見られた。中央・東シベリア、モンゴル、中国北部では正偏差の状態が5月から続き、日本付近は負偏差となった。

対流活動は、太平洋西部で平年より活発で、特にニューギニア島の東海上で活発となった。太平洋のITCZ（熱帯収束帯）は、太平洋中部で平年より活発、太平洋東部でやや不活発だった。アジア・モンスーン域は、ベンガル湾からインドネシア西部にかけて平年よりもやや不活発であった他はほぼ平年並だった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、太平洋西部からベンガル湾にかけての大規模発散域の中心は、ほぼ平年の位置にあったが、対流活発域に対応して発散域も東側に伸びた分布となった。

SOI（南方振動指数）は-0.4となり、4か月連続で負の値となった。

世界の天候

- ①シベリア南部から中央アジアの多雨
- ②モンゴル・中国の高温
- ③中国北部の多雨

中国では大雨による洪水が相次ぎ、シャンシー（陝西）省やスーチョワン（四川）省を中心に500人以上の死者が出て約7000万人が被災したと伝えられた。

- ④ヨーロッパからグリーンランド東部の高温

ヨーロッパ各国は6月後半に猛暑となり、クロアチアで12人、ルーマニアで2人が死亡したと報じられた。

- ⑤ヨーロッパ中部の多雨

ロシア南部のクラスノダール地方で下旬に洪水が発生し、90人以上が死亡したと伝えられた。

- ⑥カナダ・米国国境付近の多雨

- ⑦米国中西部からメキシコ北部の高温・少雨

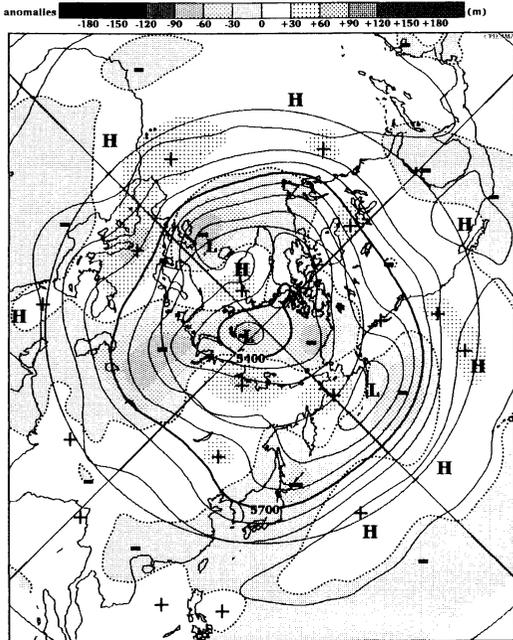
米国アリゾナ州およびコロラド州では、州の歴史上最大の森林火災となったと伝えられた。

- ⑧フロリダから中米の多雨

- ⑨南米南部の低温

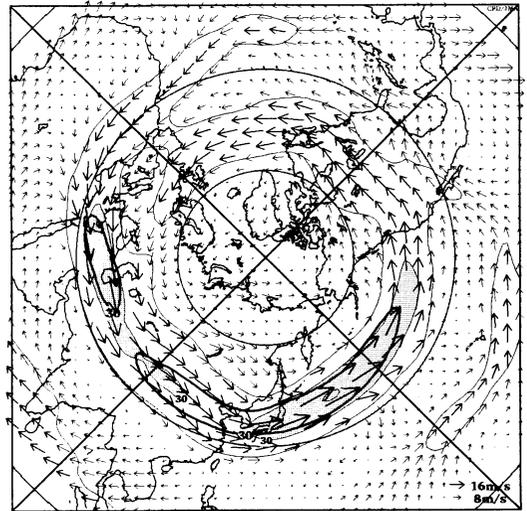
- ⑩ミクロネシア・メラネシアの高温

（気象庁気候・海洋気象部気候情報課 村上喜章）



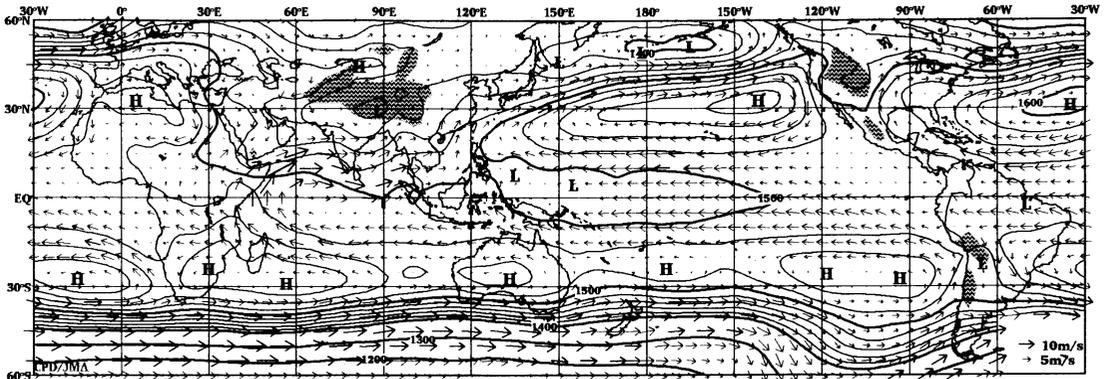
2002年6月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

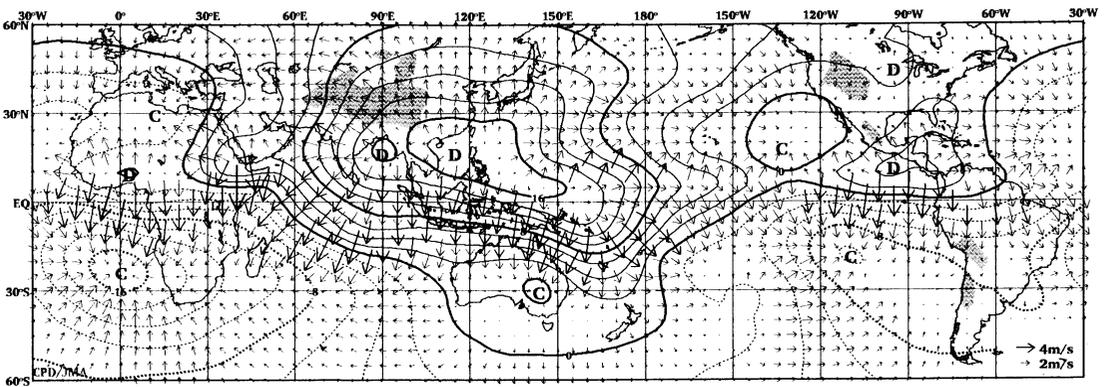


2002年6月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

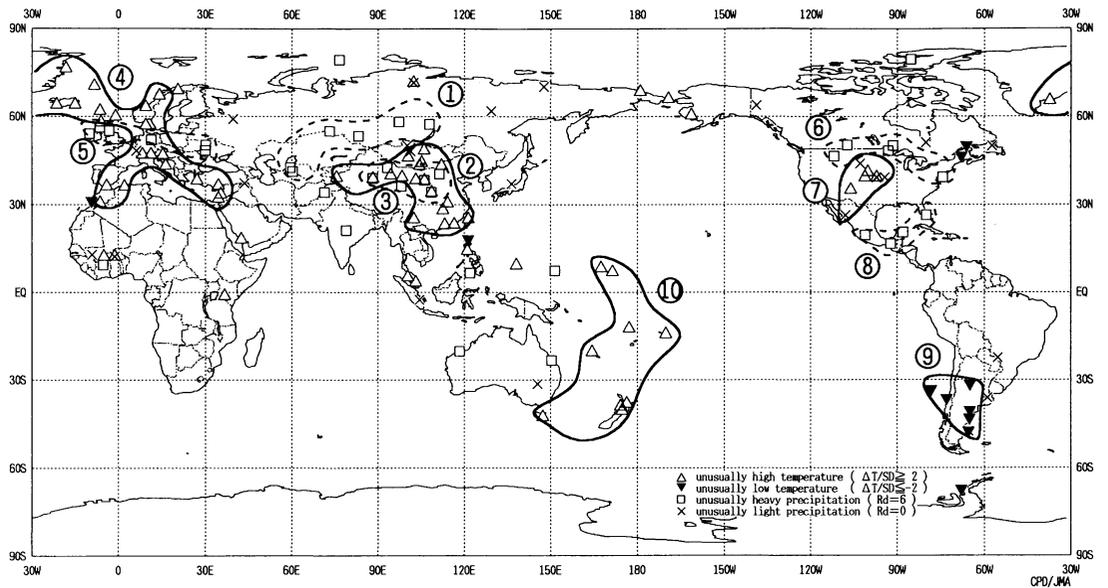
等値線間隔は15 m/s. 陰影部は30 m/s 以上, 太実線で囲まれた領域は平年の30 m/s 以上の領域を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2002年6月の月平均850 hPa高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2002年6月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2002年6月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.